

北海道 公立高校の入試制度

【2022年度版】

選抜概要

●北海道の公立高校入試は推薦選抜と一般選抜の2回あります。

	出願期間	志望変更期間	入試日	合格発表日
推薦選抜	1/19(水)～24(月)	—	2/10(木)	2/18(金)まで
一般選抜	1/19(水)～24(月)	1/27(木)～2/2(水)	3/3(木)	3/16(水)
2次募集	3/22(火)・23(水)	—	一般選抜の 結果を元に選抜	3/28(月)まで

●出願は、原則1校1学科に限ります。

ただし、農業・工業・商業に関する学科または水産に関する学科を第一志望とする場合、同一課程の同一大学科内の他の学科を第2志望とすることが出来ます。

また、一般選抜では、普通科の他に理科・数学に関する学科、体育に関する学科、外国語に関する学科を設置している場合、そのいずれかを第2志望とすることが出来ます。

●合格者数が募集人員に満たない場合や、合格者の追加をしてもなお入学予定者数が募集人員に満たない際には、2次募集が行われます。この場合は、新たな学力検査等を実施せず一般選抜の結果を元に選抜を行うこととなります。

●19の学区に分かれており、普通科への出願は原則、居住区のみになります。普通科以外の学科は道内全域で出願可能です。

推薦選抜

●動機及び理由が明確である者、当該学科に対する適性、興味・関心及び学習意欲を有する者が対象です。

●推薦による入学者の範囲は学校・学科ごとに決定されます。

- ・普通科…募集人員の20%程度（ただし、募集人員が120名以下の場合は30%程度）
- ・農業・水産に関する学科…募集人員の範囲内
- ・その他の学科…募集人員の50%程度

●選抜資料

- ①調査書・推薦書等…各教科学習の記録（評定）等
- ②面接
- ③学校採択による検査…英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技、作文
(学科ごとに上記のうちひとつまたは複数実施可能)
- ④自己アピール文(各学校の判断により出願時に提出)

上記の資料を総合的に評価し合格者を選考します。

一般選抜①

●一般選抜は各学校・学科等の特色に配慮しつつ、能力・適性等を判定します。

☆2022年度から学校裁量問題が廃止

21年度まで、学力検査は標準問題と学校裁量問題から各学校がどちらを実施するか選択できましたが、全ての生徒が同じ問題を受検ようになります。基礎的・基本的な知識及び技能と、思考力・判断力・表現力等をバランスよく出題します。

●選抜資料

- ①学力検査…国語・数学・社会・理科・英語の5科、**全ての生徒に同一問題**を実施
試験時間 **各50分**、配点**100点**
 - ・学校、学科により特定の教科に傾斜配点を行うことができます。
傾斜配点を行う教科1～3教科、得点の倍率1.5～2倍（総得点を**500点満点**に換算）
- ②調査書…各教科学習の記録（評定）は、1～3年の9科（5段階評価）が対象
(1・2年9教科×2)+(3年9教科×3)=315点満点
- ③学校採択による検査…面接・実技など
- ④健康診断書…体育に関する学科のみ出願時に提出

一般選抜②

●選抜方法

合格者の選抜方法は以下のとおりです。

募集人員	内容
①70%程度	調査書の「各教科の評定」の記録と学力検査の成績を同等に取り扱う
②15%程度	調査書の内容等を重視(学力：評定の比率や重視する項目は各学校で決定)
③15%程度	学力検査の成績を重視(学力：評定の比率は各学校で決定)

選抜はまず、①評定と学力検査の成績で行われ、①で合格にならなかった受検者を対象に、②・③の選抜を行います。②・③では、学力検査点×0.63=315点満点として扱います。②・③による選抜の順序については、各学校長の判断で決定されます。

●評定と学力検査の成績の活用について

①「各教科の評定」の記録と学力検査の成績を同等に取り扱う場合、右図の相関表に当てはめて選抜します。

縦軸-評定の記録(315点満点)を20点ごとに区切りA～Mまでの段階

横軸-学力検査の成績(500点満点)を20点ごとに区切り1～25までの段階

学力検査の得点

		学力検査の得点			
		1	2	3	4
		500～481	480～461	460～441	440～421
評定の記録	A	評定と学力検査の成績を同等70%			
	B				
	C				
	D				

※詳細は教育委員会の資料でご確認ください。